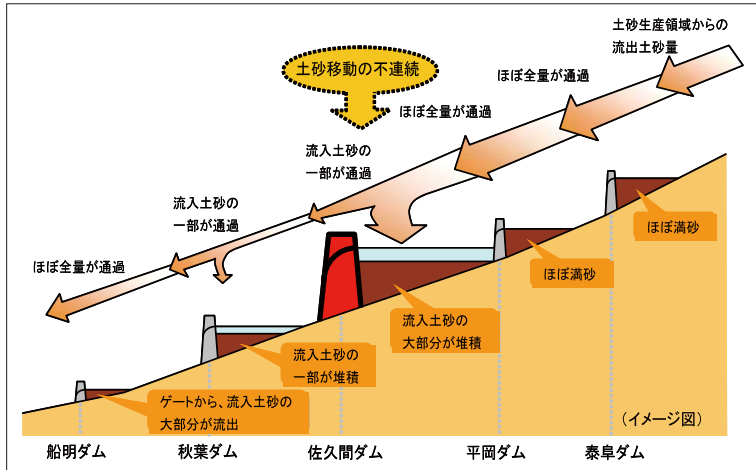


2 天竜川ダム再編事業

天竜川ダム再編事業は、利水専用の佐久間ダム(昭和31(1956)年完成、電源開発(株)所有)へ新たに洪水調節機能を確保し、天竜川中下流部の洪水被害を軽減します。

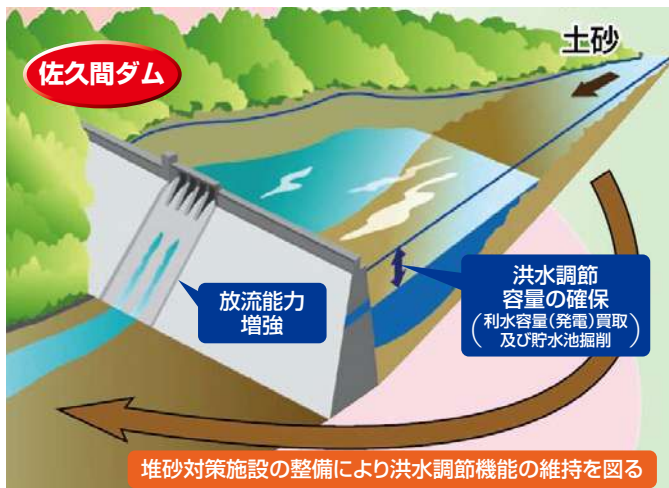
また、佐久間ダムに確保した洪水調節機能を維持するため、堆砂対策施設を整備します。掘削した土砂を下流河川に還元することにより土砂移動の連続性が確保され、遠州灘における海岸浸食の抑制が期待できます。



土砂の流れの遮断(イメージ図)



佐久間ダム 全景写真



天竜川ダム再編事業(イメージ図)



海岸汀線が大きく後退した遠州灘海岸

昭和62年の海岸汀線

3 河川管理

●河川管理

堤防等は、沿川住民の生命と財産を守る重要な河川管理施設であることから、出水時や地震時にその機能が正常に発揮できるように日頃から河川巡視や施設の点検、堤防除草、維持修繕を行うとともに、非常時の備えとして土砂や大型ブロックなどの水防資材を備蓄しています。

また平常時は貴重な社会資本である河川を良好な状態で住民の皆様に安心してご利用いただくため、安全利用点検や水難事故防止連絡協議会、水質保全連絡協議会等を関係機関と組織し、情報連絡体制の充実を図るとともに、ボランティアの皆さんの協力のもと、河川美化に努めています。

さらに河川占用や水利使用及び砂利採取等について審査し、許可・調整しています。

●ダム管理

新豊根ダムは、天竜川水系大入川に洪水調節と発電を目的として昭和48年に建設された、高さ116.5m、長さ311.0m、有効貯水容量40,400,000m³の多目的ダムです。その内、洪水調節容量10,500,000m³を利用して大干瀬川の洪水被害を軽減させるため、洪水時の防災操作や確実なダム管理を実施すべく施設・貯水池の維持管理を行っています。



クリーン作戦